家庭数配付

すくすく

札幌市立茨戸小学校保健室
令和８年１１月１３日発行
NO．19



心と体の健康について学習しました



１０月から１１月にかけて、「命の学習」として、各学年で心や体、命の大切さについて学びました。学年ごとの学習内容と感想の一部をご紹介します。子どもたちは、自分の心や体の成長や健康、命の誕生、将来つないでいく命について、真剣に考え、興味深く学習していました。

ご家庭でも、命の大切さについて、温かな話題としてお話していただければ幸いです。

１年生「たいせつなからだ」

下着や水着でかくれる場所は、自分だけの大切な場所で、命のもとがある大切な器官であることを伝え、清潔や安全に配慮できるよう学びました。

また、プライベートゾーンの知識を身に付け、自分や友だちの体を大切にするために、自分を守ることや友だちへの接し方などについて学習しました。

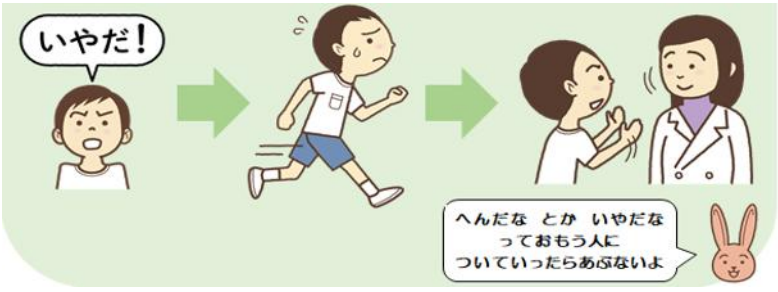


＊たいせつなところは、じぶんでまもることがわかりました。
＊おまたがだいじだっていうことがわかったよ。からだのなかもだいじ。ぜんたいがだいじ。
＊プライベートゾーンってこういういみなんだ。ぜったいにしないよ。

２年生「体をたいせつにしよう」

自分の体は全て大切であること、同時に他の人の体も大切であることについて理解しました。

また、どんな時にいやな気持ちになるのか思い起こし、学校内外のいろいろな場面で、自分の体を守るための方法について学習しました。



＊みんなにやさしくして、びっくりとかふざけたことをしないように気をつける。
＊自分がされていやなことを、みんなにしない。
＊自分とか、友だちの体を大切にする。
＊やめてください！ママとパパに今でんわしますよ！といって、にげるようにする。

3年生「ぼく・わたしのたんじょう」



赤ちゃんがお母さんのおなかの中でだんだんと成長していく様子を知り、自分も家族の愛情に包まれて誕生し成長してきたことを、赤ちゃん人形の抱っこ体験などを通じて学習しました。

＊赤ちゃんのだっこは、たいへんだったんだなと思いました。
＊父さんと母さんの命のもとがあわさって、じゅせいらんっていうやつができたのは、初めて知りました。
＊ママとパパは、いつもたいへんなことをしてくれて、自分の体にある2つの命を大切にしてくれたので、大きくなったらおんがえしをしようと思います。
＊お母さんがこんなにつらくてもがんばったのがすごいと思いました。最初は、0.1ミリだって知ってびっくりしました。

4年生「命のバトン」



自分の命は、多くの愛情を受け継いだかけがえのない命であることに気付き、思春期における体の変化は、命をつないでいく大事な変化であることを学習しました。

＊らんしとせいしの役わりがわかった。ご先祖さまってそんなにいると思わなかった。
＊ご先祖さまは、数え切れないほどいるんだなと思った。命をつないでくれた人々に感謝！
＊体の変化は、だれにでもなることがあるということがわかった。
＊いろいろな体のしくみが知れてよかった。これからも命を大切にしていきたいと思った。

5年生「命の輝き」



多くの赤ちゃんの命の始まりに立ち会った助産師さんから、生命誕生の神秘性、命の尊さ、成長する自分の体を大切にする方法について教えていただきました。

＊命がけで産んでくれて、育ててくれて、ママありがとうって思いました。
＊お母さんが出産することは大変だけど、赤ちゃんも生まれてくるときに苦しいことを初めて知りました。おなかの中で、赤ちゃんに周りの声が聞こえるのが、びっくりしました。
＊赤ちゃんが生まれるとき、すごい痛いと聞いてこわいなって思ったけど、産んだ後にしあわせホルモンが出て、最後はみんな「うれしい」と思うことがわかりました。

6年生「がん教育」

がん経験者の方を講師にお迎えし、がんという病気を通じて、病気と向き合い方、生命の大切さについて学びました。これからの生き方について、子どもたちは真剣に考えていました。

＊がんになっても、治して前向きになって、笑顔でいることが大事なんだなとおもいました。
＊自分の生活習慣をみなおして、健康に生きようと思いました。
＊父母に、がん検診に行ってもらおうと思いました。
＊前向きに考えて、ウィッグで楽しんだり、あきらめすにがんばれば、絶対に治る病気だってことが、わかりやすかったです。
＊今でも、がんにかかった人たちが関われる場所を作る活動をしているのがすごいなと思いました。